

保安林（保安施設地区）内作業許可申請書

年 月 日

（※伐採届を伴う場合は伐採を行う1ヶ月前に提出すること）

振興局長 様

住所

申請者氏名 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

次の森林（土地）において次のように立竹を伐採（立木を損傷、家畜を放牧、下草、落葉又は落枝を採取、土石又は樹根を採掘、開墾、土地の形質を変更）したいので許可されたく、森林法第34条第2項（第44条において準用する同法第34条第2項）の規定によりその許可を申請します。

森林（土地）の所在場所	市 町 大字 字 地番 郡 村 （※複数ある場合は「代表地番 ほか●筆」 字や町が異なる場合「代表地番 ほか◎町□字△筆」）
保安林（保安施設地区）の指定の目的	保安林の指定の目的を記載 例) 水源のかん養、土砂の流出の防備、土砂の崩壊の防備など
行為の方法	行為の詳細 ○○工事のため、□■設置のため…など 面積 0.0000ha(面積はha単位で小数第4位まで記載) 土工量 切(掘削)土量00m ³ 盛土量00m ³ 残土量00m ³ 残土の取扱 保安林外の処分場に搬出 or 現場内利用(残土0)
期間	始期 年 月 日より （※許可後すぐ着工の場合は「許可日より」でも可）
	終期 年 月 日まで （※設置の場合は撤去予定日） （※許可期間は最長2年間であるが、処理の都合上、申請のあった年の翌年度末までとする）
備考	・使用目的達成後の取り扱い 例) 電柱設置の場合 ○年○月○日設置完了 △年△月△日まで使用 ×年×月×日撤去完了予定 ・添付資料の内訳 例) 理由書・事業計画書・位置図・平面図・構造図・現況写真・土工計算書・土地所有者の同意書（任意の様式）

注 意 事 項

- 1 申請書は、行為を行うべき箇所ごとに作成すること。
- 2 行為の方法欄には、次の事項を記載すること。
 - (1) 立竹の伐採にあつては、伐採面積、伐採する立竹の年齢及び束数並びに伐採跡地の取扱い
 - (2) 立木の損傷にあつては、損傷の目的、損傷する立木の樹種、年齢、本数及び面積及び損傷後の取扱い
 - (3) 家畜の放牧にあつては、放牧面積、家畜の種類及び頭数並びに管理方法
 - (4) 下草、落葉又は落枝の採取にあつては、採取物の種類及び数量並びに採取方法
 - (5) 土石又は樹根の採取にあつては、採掘の目的、種類（土石の採掘の場合に限る。）面積、方法及び数量、採掘設備、土地の形質の変更の状況並びに採掘後の取扱い
 - (6) 開墾にあつては、開墾の目的、面積及び方法、土地の形質の変更の状況並びに開墾地に係る使用目的達成後の取扱い
 - (7) 土石及び樹根の採掘並びに開墾以外の土地の形質を変更する行為にあつては、変更の目的、行為の種類、内容及び面積、土地の形質の変更の状況、施行設備並びに行為地に係る使用目的の達成後の取扱い
- 3 面積を記載する場合は、実測又は見込みにより、ヘクタールを単位とし、小数第4位まで記載すること。
- 4 添付する図面の様式は、規則第48条第1項の申請書の様式のイの申請書に添付する図面の様式に準ずること。（縮尺及び方位を記載し、作業箇所及びその隣接地について、地番及び地目を記載すること。作業箇所を赤く着色すること。）
- 5 解除予定保安林については、解除予定告示年月日及び告示番号を備考欄に記載すること。

明細書

森林の所在場所					規模及び構造		申請面積	森林所有者住所 氏名	保安林種
市町	町	大字	字	地番	台帳	実測または見込み			
該当する全地番について記載する									
例) 佐世保市	木場田町			3-25	0.2536ha	0.2536ha	0.0147ha	佐世保市木場田町3-25 県北振興局長	土砂流出防備保安林
佐世保市	木場田町			3-28	0.5411ha	0.5411ha	0.0300ha	佐世保市八幡町〇〇 佐世保 太郎	土砂流出防備保安林
合計				2 筆	0.7947ha	0.7947ha	0.0447ha	2 名	

作業許可申請の理由

- ・作業許可の申請内容の説明
- ・保安林以外に適地を求められない理由を明記する

例)

当申請は、～～～をするための工事であり、～～のため必要不可欠です。
また、～～～のため、やむを得ず保安林内に設置するものです。

事業計画書

土地の形質の変更に係る事業 又は施設の名称	事業または施設の名称		
事業者の住所・氏名	佐世保市〇〇町××000-00 △△株式会社 取締役 保安 林太郎		
用地選定理由	保安林内で実施しなければならない理由 ほかの場所に変えられない理由		
当該事業を実施するものが当該保安林の土地を使用する権利の種類及び当該権利の取得	事業実施者と土地使用者が異なる場合、所有者の同意を示す書類が必要。その取得状況。 例) 同じ場合→所有権を示す書類(登記簿謄本等) 異なる場合→土地使用同意書(〇年〇月〇日取得済) ※同意書の様式は任意 別紙参照		
事業資金の総額及び調達方法	資金総額(千円)	調達方法	
		種類及び名称	金額
		自己資金	(1,500)
			1,500
			()
	(1,500)		()
	1,500	計	(1,500)
	※()内は保安林		1,500
事業経費	別紙1のとおり		

その他参考となるべき事項	1.用地の転用についての許認可等			
	法令の名称	許認可年月日または、その見通等		
	許認可を必要とするほかの法令はないか	下記に例		
	2.事業についての許認可等			
	法令の名称	許認可年月日または、その見通等		
	例)建築法	○年○月○日 取得済 申請中(△年△月△日 取得予定)		
	3.土地使用权の種類及び取得状況			
	種類	地目	面積(m ²)	取得状況
	例) 施工同意書	保安林	147	○年○月○日取得済
	土地賃借権	保安林	300	×年×月×日契約
	計		447	
	4.転用後の用途面積			
	用途	仮設ヘリポート (一次利用)m ²	仮設道 (一次利用)m ²	適用
	保安林	380	67	
	計	380	67	
	5.排除を要する他人の権利			
	種類	権利者の住所氏名		適用
抵当権	平戸市○×町00-0 ○○ ○○		立木法	
6.申請者と事業者との関係				
例)事業者と申請者が同じ場合 同一人		例)事業者と申請者が異なる場合 事業者:△△△(発注者) 申請者:○○○(受注者)		
7.申請面積が必要最小限であることを証する根拠				
例)・面積が最小限となる工法を選択 ・別紙:3工法比較表参照 ・○○基準に基づき面積が最小限になるよう設計 ・崩壊箇所のみ施工である				
8.事業量及び事業の概要				
1.事業量等				
(1)事業の名称	○○工事			
(2)事業量	施工延長 L=00m 仮設ヘリポート A=447m ²			
(3)面積	0.0447ha			
2.面積内訳				
	仮設ヘリポート 380m ² 仮設道 67m ²			

事業経費（例）

上段（）書きは保安林内

費用	工種	種目	単位	数量	金額	適用
直接工事費	掘削工		式	(1)	(350,000)	
				1	350,000	
	覆工版 設置工		式	(1)	(400,000)	
				1	400,000	
	小計		式	(1)	(750,000)	
				1	750,000	
諸経費			式	(1)	(600,000)	
				1	600,000	
合計					(1,350,000)	
					1,350,000	
消費税 相当額					(108,000)	
					108,000	
総計					(1,458,000)	
					1,458,000	